

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	041 職員の労働安全衛生事務					
予算科目	01-020102-14	ワークライフバランス推進に要する経	担当部課	総務部ワークライフバランス推進課		
市長公約			係名			
戦略プラン			新規・継続	継続		
			事業分類	自治事務（義務）		
			事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市職員の心の健康づくり計画		事業期間	毎年度		
根拠法令等	労働安全衛生法、地方公務員災害補償法、労働者災害補償法保険法、つくば市職員安全衛生管理規則		SDGs			

## 事業の概要

対象	職員
目的	職員の健康管理と心の健康づくりを推進することで、質の高い市民サービスと効率の良い行政運営に資する。
概要 (取組内容)	産業医面談、心の健康相談の実施 労働安全衛生法に定められた職員健康診断の実施 ストレスチェックの実施 衛生委員会の開催や職場巡視の実施

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	16,792	17,584	18,069	18,391	18,391	
	決算額	(千円)	12,990	17,955	14,164	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,990	17,955	14,164	-316	-316
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	316	316
人件費	人件費計	(千円)	24,070	24,210	13,997	13,865	13,865	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.50	3.50	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	110.00	120.00	154.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

## 指標の推移

1	指標名	健康診断・人間ドックの受診率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	96.4	98.2	98.3	96.9	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	「心の健康相談」の掲示板掲載に際して、出先機関等の庁内情報システムを見る機会の少ない部署については、所属長が所属内職員に十分な周知をするように働きかけた。	
成果	産業医面談 359件、心の健康相談 60件 健康診断等受診率 96.9% ストレスチェック受検率 91.2%	
課題	業務	メンタル不調による療養が長期化すると復職に結びつきにくい。
	組織、予算等	特になし
改善目標	メンタル不調の兆しに気づいたら、健康管理スタッフに早期につながるよう周知啓発を行い、メンタル不調の早期発見と早期対応につなげる。	

#### 評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

#### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	045 働き方改革推進事業						
予算科目	01-020102-14			ワークライフバランス推進に要する経		担当部課	総務部ワークライフバランス推進課
市長公約	4	12	13			係名	
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市職員のワークライフバランス推進プラン					事業期間	毎年度
根拠法令等	次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法					SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう
							08働きがいも経済成長も

## 事業の概要

対象	職員
目的	すべての職員が持てる能力を最大限発揮できる環境を整え、ワークライフバランスを実現することで、より良い施策、行政サービスを市民に提供することにつなげる。
概要 (取組内容)	働きやすい職場環境等の整備や女性職員活躍を推進する。 働き方の見直しに重点をおき、職員の意識改革、時間外勤務の縮減等に取り組む。 多様で柔軟な働き方の実現に向け、制度等の検討及び休暇等の利用促進を図る。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	16,188	9,877	10,456	826	826	
	決算額	(千円)	13,727	8,697	357	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9,727	8,697	357	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	4,000	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	30,870	34,390	13,750	13,792	13,792	
	内訳	正職員従事割合	(人)	4.50	5.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	110.00	91.00	53.00	70.00	70.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

## 指標の推移

指標名	時間外勤務時間数 (時間)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	8.5	8.2	8.0	7.8	7.6	7.4
実績	9.7	7.7	7.6	8.0	0.0	0.0
指標の概要	職員一人当たり、一月あたりの時間数を毎年度、3%程度減少させる。					

2	指標名	年次休暇の取得率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	69.0	67.5	72.6	70.1	0.0	0.0
	指標の概要	年次休暇（年間20日に対して）の取得率を90%以上にする。					
3	指標名	年10日以上の子年次休暇の取得率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	69.7	70.6	76.7	74.8	0.0	0.0
	指標の概要	年10日以上の子年次休暇の取得率100%を目指す。					
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	情報政策課へ移管した「No.1098 業務改善推進事業」において対応	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性職員の2週間以上の育児休業取得率 82.9%</li> <li>・仕事と家庭生活の両立支援につながる制度情報を掲載した『ワークライフバランスハンドブック』を周知するとともに、育児休業に関する職員アンケートを実施し職員ニーズの把握と改善検討につなげた。</li> <li>・テレワーク用専用端末50台及び自治体テレワークシステムアカウント205件を適切に運用した。</li> </ul>	
課題	業務	育児休業等の取得支援については、周囲の負担感を軽減する対応と両輪で進める必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	育児休業等の取得促進について、各職員が希望する期間を取得しやすくかつ周囲もより円滑な業務遂行ができるような職場環境づくりの取組（上司等の理解促進、マネジメント力の強化等）を検討・実施する。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	縮小
理由	業務改善に関する業務を情報政策課に移管したため